

クリーン大気法

クリーン大気法 クリーンたいきほう

Clean Air Act. 米国において1970年に成立した連邦法である。この結果、電力各社は大気汚染対策を強いられることとなった。米国環境保護庁（Environmental Protection Agency）は同法の遵守につき州に権限委任している。開発事業者、州政府及び米国水産・野生生物庁（Fish and Wildlife Service）は同法とクリーン水質法に基づき、発電施設が絶滅、減少の危険にさらされている生物に悪影響を与えないように措置する義務を負っている。

<登録年月>

2004年03月
